
Veritas System Recovery™ 23 ライセンスガイド(改訂版5)

本資料は、Veritas System Recoveryの販売と見積もりを支援することを目的とし、使用可能なライセンス、メンテナンスプログラムについて説明しています。価格およびSKUについては、WEB など最新の価格表を参照してください。本資料は予告なく変更されることがあります。

• 改定履歴

版数	発行日	改定履歴
System Recovery 23 ライセンスガイド	2022年12月	<ul style="list-style-type: none"> 初版発行
System Recovery 23 ライセンスガイド改訂版1	2023年2月	<ul style="list-style-type: none"> 「サポートの複数年契約の注意事項」(P16)。永続ライセンスを前提にした記載のみとなっていたため、サブスクリプションライセンスの関連記載も追記 製品ご購入時の旧バージョンへのダウングレードについて記載 (P14) ライセンスの並行使用について (P12)。並行使用中のサポート対応について記載
System Recovery 23 ライセンスガイド改訂版2	2023年5月	<ul style="list-style-type: none"> サブスクリプションライセンス失効時の動作を追記(P12)
System Recovery 23 ライセンスガイド改訂版3	2023年7月	<ul style="list-style-type: none"> System Recovery 18のサポートが完全に終了したため (2023年4月をもって)、関連記載を削除(P14) Veritas Solution Channel (VSC)のレイアウト変更に伴い、画面キャプチャーを更新 (P17)
System Recovery 23 ライセンスガイド改訂版4	2023年8月	<ul style="list-style-type: none"> System Recovery 23.1のリリースに伴い、新機能の説明をP5に追記
System Recovery 23 ライセンスガイド改訂版5	2024年5月	<ul style="list-style-type: none"> P6: Basic Edition → Server Editionへのアップグレードに関する注意点を記載 P9: ガバメント、アカデミックの購入プログラムが廃止され、コーポレートプログラムに統一されたので、「購入プログラム」の記載を修正

目次

1. Veritas System Recovery	頁
Veritas System Recoveryの主な機能	4
Veritas System Recovery 23の新機能	5
Veritas System Recovery 23でサポートされなくなった機能	6
製品ファミリーのご紹介	7
Server Edition, Virtual Edition, Desktop Editionとの機能比較	8
購入プログラム	9
2. Veritas System Recoveryのライセンス	
ライセンス数の決定方法	10
Veritas System Recovery 23から新たに採用されたSLFファイルについて	11
ライセンスの並行使用について	12
サブスクリプションライセンス失効時の動作について	12
3. 資格、アップグレード、移行パス	
アップグレード資格	13
アップグレードの仕組み	13
サポート終了情報、旧バージョンのダウングレードについて	14
4. サポート/メンテナンスサービスの提供	
サポート契約レベル	15
サポートの複数年契約の注意事項	16
Webベースのテクニカルサポート	16
5. 評価版	17
6. ベリタステクノロジーズ日本語情報サイト	17

1. Veritas System Recovery™

Veritas System Recoveryは、ダウンタイムの削減とリカバリ時間目標の確実な達成に役立つ、高速で信頼性の高いシステムリカバリを実現します。Veritas System Recoveryを導入すれば、IT管理者は特許取得済みの Restore Anywhere 技術を使用して、物理システムや仮想システムを、ベアメタル、異なるハードウェア、遠隔地、仮想環境に高速でリストアできます。

Veritas System Recoveryは、ユーザーの生産性に影響を与えることなく、システム全体（オペレーティングシステム、アプリケーション、システム設定、構成、ファイルを含む）のリカバリポイントをキャプチャします。このリカバリポイントは、直接接続型ストレージ（SAS、SATA、USB-HDD、RDX）、ネットワークストレージ（NAS、SAN デバイス）など、主要なディスクストレージデバイスに手軽に保存できます。システムに障害が発生した場合、時間と手間の掛かるマニュアルでのインストール作業を行うことなくシステムを高速でリストアできます。

Veritas System Recoveryは、百万台以上のシステムの保護に使われている実績があり、安心して信頼性の高いシステムリカバリソリューションとして実証されています。

Veritas System Recoveryの主な機能

高速で自動化されたシステムリカバリ

- 物理システムや仮想システムを、ベアメタル、異なるハードウェア、遠隔地、または仮想環境に高速でリストアします。
- システム全体のリストアにあたり、オペレーティングシステム、アプリケーション、システム設定の手動での再インストールや再設定の必要がありません。
- オフサイトコピー機能を使用して、リカバリポイントをクラウドストレージ、外部ドライブ、ネットワーク共有、またはリモートFTP サーバーに自動的にコピーできます。

仮想変換機能

- 物理から仮想、および仮想から物理へのシームレスな変換を実現します。
- スケジュール設定された物理から仮想への変換により、システムリカバリを即時に実行可能です。
- VMware®、Microsoft®、Hyper-V™、Citrix™、XenServer™を含む、最新の仮想環境をサポートします。

高度なバックアップスケジュール

- ユーザーまたは従業員の生産性を低下させることなく、バックアップの自動実行をスケジュールします。
- コールドイメージング技術により、システムにソフトウェアをインストールせず、ブート前状態のシステムのバックアップをキャプチャできます。
- SmartSector™ および圧縮のデータ削減技術を使用して、バックアップ処理を高速化し、ストレージコストを削減します。

暗号化

- AES 128 ビット、192 ビット、256 ビットのソフトウェア暗号化を提供します。

Veritas System Recovery 23の新機能

サブスクリプションライセンスの対応とSLFライセンスファイルの採用

- Veritas System Recovery 23から新たにサブスクリプションライセンスの提供を開始しました。また、ライセンス形式は、SLF形式のライセンスファイルとなります（従来のライセンス番号を入力する形式は廃止となりました）。SLF形式のライセンスファイルは、Veritas System Recovery 23から利用できるライセンスタイプで、サブスクリプションライセンスと永続ライセンスの両方を提供します。
- SLFライセンスファイルの取り扱いに関するより詳しい説明は、Veritas Solution Channel (<https://www.veritas-solution.com/>) → 「製品・ソリューション情報」 → 「System Recovery」にて掲載している「VSR23リリース情報」をご確認ください。

Exchange Server 2019 CU11 / Exchange Server 2016 CU22対応

- Veritas System Recovery 23はExchange Server 2019 CU 11 / Exchange Server 2016 CU 22をサポートしました。Exchange Server 2019 CU 11 / Exchange Server 2016 CU 22がインストールされているコンピュータのバックアップの作成とリカバリが可能となります。

※Exchange Server 2019 / Exchange Server 2016ではGranular Restore Optionはサポートされておりません

SQL Server 2019対応/2022対応(バージョン23.1)

- Veritas System Recovery 23はSQL Server 2019をサポートしました。SQL Server 2019がインストールされているコンピュータのバックアップの作成とリカバリが可能となります。
- また、バージョン23.1では、SQL Server 2022をサポートしました。

VMware ESXi 7.0 Update 3

- Veritas System Recovery 23はVMware ESXi 7.0 Update 3が導入された仮想ホスト上の仮想マシンのバックアップとリカバリが可能となりました。

※ESXiの仮想ホスト自身のバックアップとリカバリは未対応です。

Windows 10 22H2/ Windows 11 22H2対応

- Veritas System Recovery 23はWindows 10 22H2 / Windows 11 22H2をサポートしました。Windows 10 22H2 / Windows 11 22H2がインストールされているコンピュータのバックアップの作成とリカバリが可能となります。

改良された自動化スクリプトとSRDのコマンドラインから実行できるコマンド

- Veritas System Recovery 23.1ではPowershellの自動化スクリプトとSRDのコマンドラインから実行できるコマンドの改良を行いました。クラウドストレージへのバックアップとリストア、格納されたりカバリポイントの確認等お客様の運用をさらに手助けしてくれます。

Windows 11 ADKのサポート

- Veritas System Recovery 23.1 は、Windows 11 21H2 および Windows 11 22H2 向けの Windows ADK をサポートしました。

Veritas System Recovery 23でサポートされなくなった機能

- Veritas System Recovery 23 は、Veritas System Recovery 18（またはそれ以下のバージョン）からの直接アップグレードをサポートしておりません。尚、段階アップグレードは可能です。
（例：バージョン18からバージョン21を経由してバージョン23にアップグレード等）
- Veritas System RecoveryのBasic Edition, Linux Editionの販売は、2022年8月1日をもって販売を終了いたしました。このため、本ガイドから記載を外しています。
- 注意事項
 - Veritas System Recovery 23 Managerを利用して、Veritas System Recovery Linux Editionのバージョン22および21のバックアップ保護ステータスを引き続き監視することができます。
 - Veritas System Recovery 23では32ビットクライアントをサポートしておりません。
 - Veritas System RecoveryのBasic Editionが既に導入されている環境（マシン）からServer Editionに直接アップグレードすることはできません。インストーラが共通であるため、一見アップグレードが成功したかのように見えますが、弊社ではこのケースを想定した正式な動作検証は行っていませんため、サポート対応は行えません。Basic Editionをアンインストールして、新規にServer Editionを導入してください。ジョブ設定や履歴は無くなりますが（Server Editionに引き継ぐことはできません）、Basic Editionで取得したバックアップ（リカバリポイント）はServer Editionから読み出してリストアに使用することは可能です。Server Editionを導入した後、ジョブの再設定を行ってください。

製品ファミリーのご紹介

Veritas System Recovery Server Edition

- Veritas System Recovery Server Edition を 1ライセンス含みます
- Veritas System Recovery Desktop Edition を 1ライセンス含みます

Veritas System Recovery Desktop Edition

- Veritas System Recovery Desktop Edition を 1ライセンス含みます

Veritas System Recovery Virtual Edition

- Virtual Editionでサポートされる機能は、Server Edition/Desktop Editionと共通です。ライセンスのパッケージの違いのみとなります。
- Virtual Editionでは、ライセンスが適用されている仮想ホスト1台分の保護（Hyper-Vの仮想ホストに限る）と、同一仮想ホスト上のWindowsゲストOS（クライアントOS・サーバOS）を台数無制限で保護する権利が含まれています。
- 仮想ホストのために別途Server Editionのライセンスを調達する必要はありません。

Veritas System Recovery Manager

- すべての Editionに含まれる無償の監視・管理ツールです。インストールメディアに含まれています。

Server Edition, Virtual Edition, Desktop Editionとの機能比較

機能	Server Edition*3	Desktop Edition	Virtual Edition*4
オンラインでのボリューム単位のバックアップ	○	○	○
フォルダやファイル単位でのバックアップ	○	○	○
スケジュール管理	○	○	○
増分バックアップ	○	○	○
コールドイメージング	○	○	○
ボリュームのバックアップから個別のフォルダやファイル単位でリストア	○	○	○
ボリュームのバックアップからExchangeの個々のメール単位、SharePointのドキュメント単位でリストア	○	○	○
仮想環境へのリストアおよびP2V変換	○	○	○
オフサイトコピー	○	○	○
System Recovery Managerによる監視・バックアップジョブの管理	○	○	○
クラウドストレージ(Azure Blob Storage, AWS S3)に直接バックアップデータを保存	○	○	○
WindowsクライアントOSの対応*1	○	○	○
WindowsサーバOSの対応*2	○	×	○

*1:「WindowsクライアントOS」とは、Windows 10/11といったOSを搭載したクライアントマシンです。

*2:「WindowsサーバOS」とは、Windows Server 2016/2019/2022といったOSを搭載したサーバマシンです。

- 対応OSに関する詳細は、Software Compatibility List (SCL) - https://www.veritas.com/content/support/en_US/doc/VSR_23_SCLをご確認ください。

*3: Server EditionにはDesktop Editionのライセンスが1本付与されています。

*4: Virtual Editionでサポートされる機能（上記の表）は、Server Edition/Desktop Editionと共通です。一つのVirtual Editionライセンスには、仮想ホスト1台の保護（Hyper-Vの仮想ホストに限る）、同一仮想ホスト上のWindowsゲストOS（クライアントOS・サーバOS）を台数無制限に保護する権利が含まれています。

[Windows Storage Serverに関する注意事項]:

- Windows Storage Serverの最新の対応状況に関しては、上記Software Compatibility List (SCL)をご確認ください。弊社は、本ガイド執筆時点ではWindows Server 2019/2022 IoTを正式にサポートしておりません。但し、Windows Server 2019/2022の通常版とバイナリが共通であるため、通常版と同等の使い方が確認できれば、サポート対応は受け付けます。但し、NASハードウェアに起因する問題は、弊社では対応できませんので、ベストエフォートの対応に限定されます。（問題切り分けのため、通常版で事象を再現してもらう場合があります）
- Windows Storage Server については、各OEM提供ベンダーにおいて、サードパーティ製アプリケーションのインストール、使用許諾上認めていない場合があります。事前にベンダー側の使用許諾の内容をご確認いただくことをおすすめします。

購入プログラム

購入プログラム	説明
コーポレートライセンスプログラム	あらゆる組織のお客様がベリタスのソリューションをシンプルな手続きでご購入いただけます。 ※ガバメントライセンスプログラム、アカデミックライセンスプログラムは2024年4月末を持ちまして終了となり、2024年5月からコーポレートライセンスプログラムに統合されました。

Backup Execは使いやすく、ライセンス取得も簡単です。

Backup Execには以下の種類のライセンスモデルを用意しています。お客様の用途や予算に合わせて、最適なライセンスを選択できます。

購入プログラムについての詳細は、ライセンスプログラム価格表ページをご覧ください。

<http://www.veritas.com/ja/jp/licensing/>

2. Veritas System Recovery™のライセンス

ライセンス数の決定方法

エディション	ライセンスメーター	説明
Server Edition	サーバー単位 (物理または仮想)	<ul style="list-style-type: none"> 1サーバーごとに1ライセンスが必要です。保護対象のサーバーの数（物理または仮想）が、必要なライセンスの数です。 例) 2台の物理サーバーを保護する場合： Server Edition ライセンスが 2つ必要 SRD のコールドイメージング機能（ソフトウェアをインストールすることなくバックアップを可能にする機能）を使用する場合：保護対象のサーバーごと、またはコールドイメージング機能を使用するシステムごとに、ライセンスが 1つ必要です。 サーバーの移行に使用する場合：保護または移行対象のアクティブなシステム（物理または仮想）ごとにライセンスが 1つ必要です。廃棄した（または廃棄予定の）サーバーをカウントする必要はありません。
Desktop Edition	クライアントPC 単位	<ul style="list-style-type: none"> 保護対象のクライアント PC 1台ごとに1ライセンスが必要です。 例) 保護対象のクライアント PC が10台の場合： 合計10 ライセンス購入する必要があります。 Desktop Edition はクライアント PC 単位でライセンスを付与されるため、何人のユーザーが各クライアント PC を使用してもライセンス数はクライアント PC 台数分です。
Virtual Edition	仮想ホストの 物理サーバー単位	<ul style="list-style-type: none"> 仮想ホストサーバーごとに 1 ライセンスが必要です。対象の仮想ホスト上の仮想マシン(Windows のみ)に対し、無制限に保護できます。 例) 1 台の物理ホストサーバーで 10 台の仮想マシンが稼働している場合： Virtual Editionライセンス 1つで済みます 複数台の仮想ホストサーバーを使用している場合：Virtual Edition のライセンスを、保護対象の仮想ホストサーバーの数と同数購入する必要があります。 仮想環境では、Virtual Editionのほうが、仮想マシンごとにServer Edition を購入するより、コスト効果が高い場合があります。 Windows Hyper-Vが仮想ホストOSの環境でVirtual Editionを利用する場合、ホストOSも Virtual Edition で保護できます。 Virtual Edition の保護対象の仮想ホスト上に、物理マシンを仮想変換して移動してくる場合のみ、仮想変換の対象となる物理マシンに、Virtual Editionのライセンスを一時的に利用して 仮想変換を実施できます。
Veritas System Recovery Manager	System Recovery のすべてのEditionに含まれる	<ul style="list-style-type: none"> Windowsマシン複数台のバックアップジョブの管理（実行、削除、編集）と監視が可能です。 ライセンスは不要です（無償）

Veritas System Recovery 23から新たに採用されたSLFファイルについて

Veritas System Recovery 23から、新たにサブスクリプションライセンスの提供を開始しました。このライセンスは、Backup Execでも採用しているSLFという形式のライセンスファイルで提供されます。また、このバージョンの永続ライセンス(Perpetual)もSLF形式のライセンスファイルで提供されます。従来のライセンスキー番号を入力する方式はこのリリースから廃止となりました。

SLFファイルと従来のライセンス番号を入力する方式について、以下の点についてご注意ください。

- Veritas System Recovery 22/21/18などの従来のバージョンでは、ライセンスキー番号を入力する方式を採用しています。SLF形式のライセンスファイルは、Veritas System Recovery 23以降で利用可能なライセンスファイルです。従来のSystem Recovery(例: バージョン22や21) にSLF形式のライセンスファイルを適用することはできません。また従来のリリースに対して、SLF形式のライセンスファイルを提供する予定もありません。
- 従来のSystem Recoveryで使用しているライセンスキー番号を、バージョン23に適用することもできません。
- ライセンスキーは、メジャーバージョンを跨いでの利用はできません（互換性がありません）。例えば、バージョン18のライセンスキー番号をバージョン21に転用したり、バージョン21のライセンスキー番号をバージョン23に転用することはできません。たとえライセンス形式が一緒でも、メジャーバージョン間でのライセンスキーは互換性がありません。弊社のVEMS（ライセンスポータル）からメジャーバージョンと一致するライセンスキーの再発行が必要となります。
- Veritas System Recovery 23の永続ライセンスと有効な保守契約を保有しているお客様は、弊社サポートサイト(https://www.veritas.com/content/support/ja_JP/)の「Download Center」、「ライセンスポータル（VEMS）」から過去にリリースしたSystem Recoveryのインストールメディアと、ライセンスキー番号を入手することができます。
- SLFライセンスファイルの取り扱いについては、Veritas Solution Channel (<https://www.veritas-solution.com/>) → 「製品・ソリューション情報」 → 「System Recovery」にて掲載している「VSR23リリース情報」をご確認ください。画面例を交えながらより詳しく解説しています。

ライセンスの並行使用について

Veritas System Recoveryでは、旧環境から新環境への「移行」をやすくするため、60日以内であれば、新旧環境で同一ライセンスキーファイルを使用することを認めています。60日以内で移行目的に限り、旧環境の保守契約を利用して新環境への移行に必要なサポート対応も受け付けます（新環境用の保守契約はこの期間中は不要です）。

但し、60日間を超える場合、また新旧環境の移行が完了した後も、引き続き新旧の両環境を継続して利用する場合は、新環境向けに必要なライセンスと保守をご購入ください。

サブスクリプションライセンス失効時の動作について

サブスクリプションライセンスの契約を更新しなかった場合または失効した場合、失効後、直ちにバックアップを実行することができなくなります（猶予期間もありません）。但し、管理コンソールへのログイン、システム復旧ディスクの起動（SRD）は可能であるため、過去に取得したバックアップからの「復旧」（リストア）を行うことはできます（サブスクリプションライセンスが失効した状態のままでも）。サブスクリプションライセンスが失効しても、すべての機能を利用する権利を失うわけではありません。

3. 資格、アップグレード、移行パス

Veritas System Recovery 21/22からVeritas System Recovery 23に直接アップグレードすることが可能です。サポート/メンテナンス契約の状態によっては、Veritas System Recovery 23に無償でアップグレードできる場合があります。無償アップグレード資格の有無については、次の表を参照してください。

アップグレード資格

メンテナンスの状態	説明
有効なサポート/メンテナンス契約をお持ちの System Recoveryのお客様	<ul style="list-style-type: none"> 既存の製品を、サポート/メンテナンス契約に基づいて無償で Veritas System Recovery 23にアップグレードできます。
Veritas System Recovery 22およびそれ以前のバージョンを使用中で、有効なサポート/メンテナンス契約をお持ちではないお客様	<ul style="list-style-type: none"> Veritas System Recovery 23を使用するには、該当する後継製品のバージョンアップグレード用型番 (SKU) にて、ライセンスをお得な価格で購入することができます。

アップグレードの仕組み

現在お使いの製品	Veritas System Recovery 23へのアップグレード
System Recoveryライセンス(サポート/メンテナンス契約あり)	
Veritas System Recovery 22/21 Veritas System Recovery 18 Veritas System Recovery 16 System Recovery 2013/2013R2 System Recovery 2011 Backup Exec System Recovery 2010 Backup Exec System Recovery 8.5 Backup Exec System以前 (サポート/メンテナンス契約あり)	<ul style="list-style-type: none"> Veritas System Recovery 23に無償でアップグレードできます。ソフトウェアは、Veritasサポートサイトからダウンロード、またはメディアを購入することにより入手できます。 Veritas System Recovery 22/ 21を使用中的お客様は、Veritas System Recovery 23に直接アップグレードできます。過去の他のバージョンは、直接アップグレードはできず、段階アップグレードが必要となります (例: Veritas System Recovery 18 → 22 → 23)
Veritas System Recovery 22およびそれ以前のバージョンを使用中で、有効なサポート/メンテナンス契約をお持ちではないお客様	<ul style="list-style-type: none"> Veritas System Recovery 23を使用するには、該当する後継製品のバージョンアップグレード用型番 (SKU) にて、ライセンスをお得な価格で購入することができます。
サポート/メンテナンス契約なしのお客様 (Veritas System RecoveryのすべてのEdition)	
System Recovery または Backup Exec System Recovery の全バージョン (サポート/メンテナンス契約なし)	<ul style="list-style-type: none"> Veritas System Recovery 22、Veritas System Recovery 21またはそれ以前のバージョンを使用中で、有効なサポート/メンテナンス契約をお持ちではないお客様がVeritas System Recovery 23を使用するには、該当する後継製品のバージョンアップグレード用型番 (SKU) にてお得な価格で購入することができます。

サポート終了情報

バージョン	リリースの種類	販売終了	標準サポート終了日	すべてのサポート終了日
Veritas System Recovery 22	メジャー	販売終了	2023年12月5日	2025年12月5日
Veritas System Recovery 21	メジャー	販売終了	2023年2月7日	2025年2月7日

注) 上記に記載の無い過去のバージョンは、全てサポートの提供が終了しています。

製品ご購入時の旧バージョンへのダウングレードについて

旧バージョンの入手、新バージョンへのアップグレードには、有効なサポート契約を保有されていることが条件となります。なお、お客様のご判断で保守更新を行わず、保守の無い状態で旧バージョンを継続して利用することは可能です。但しこの場合、製品に対して弊社からのテクニカルサポートの受付および不具合や脆弱性に対応した修正パッチの入手はできなくなりますのでこの点をご理解ください。このことから弊社としては、保守が有効な状態をご利用いただくことを強く推奨しております。

4. サポート/メンテナンスサービスの提供

有効なサポート/メンテナンスサポート契約をお持ちのお客様は、Veritasテクニカルサポートグループに対し、電話やWEBによりお問い合わせのケースを発行できます。そして、電話やEメールでのサポート対応を受けることができます。

Veritas テクニカルサポートグループにお問い合わせの際には、次の情報をご用意ください。

- サポート契約のサポートID
- ご利用中の製品名及びバージョン、サービスパックやリリースのレベル
- ハードウェア情報（利用可能なメモリ、ディスク領域、NIC情報、など）
- オペレーティングシステム
- ネットワークポロジ（ルーター、ゲートウェイおよびIPアドレス情報、など）
- 問題/お問い合わせの内容
- エラーメッセージ/ログファイル
- ベリタスのサポートに連絡する前に行ったトラブルシューティングの内容と結果
- 最近行ったソフトウェアの構成変更および/またはネットワークの変更

サポート契約レベル

	特徴
エッセンシャルサポート	<ul style="list-style-type: none"> • サポート契約期間中、最新バージョンへのアップグレードの無償提供 • 重大度 1 の障害に対して、レスポンスタイムの目標値 30 分 • 24 時間 365 日の電話対応 (重大度1の障害に対してのみ 24 時間の問題解決に対応。時間外の対応言語は英語のみ。) • 製品タイトルごとのお問い合わせ担当者 (Named Caller) は無制限登録が可能
ベーシックメンテナンス	<ul style="list-style-type: none"> • サポート契約期間中、最新バージョンへのアップグレードの無償提供 • 重大度 1 の障害に対して、レスポンスタイムの目標値 は 1 営業時間内 • 24 時間 365 日の更新とパッチの提供 • 営業時間内（弊社営業日 9:00-18:00）のコールセンターへの問い合わせ • 製品タイトルごとのお問い合わせ担当者 (Named Caller) は無制限登録が可能

サポートの複数年契約の注意事項

サポートは複数年分を一括契約可能です。その際、以下の組み合わせでご発注頂く必要があります。ご不明点は販売店、仕入れ元、ベリタスセールスインフォメーションセンターまでお問い合わせください。

契約年数	ご発注頂く製品/サポートの組み合わせ（サブスクリプションライセンスの場合）
1年	12ヶ月（1年分）のサポート付ライセンス
2年	24ヶ月（2年分）のサポート付ライセンス
3年	36ヶ月（3年分）のサポート付ライセンス
4年	48ヶ月（4年分）のサポート付ライセンス
5年	60ヶ月（5年分）のサポート付ライセンス

注）ご利用頂く製品のサポート提供期間は、ご契約いただいたサポート契約の年数とは連動していません。必要に応じ、サポート契約により無償で提供される最新バージョンへのアップグレードをご利用ください。

契約年数	ご発注頂く製品/サポートの組み合わせ（永続ライセンスの場合）
1年	12ヶ月（1年分）のサポート付ライセンス
2年	24ヶ月（2年分）のサポート付ライセンス
3年	36ヶ月（3年分）のサポート付ライセンス
4年	36ヶ月（3年分）のサポート付ライセンス + 12ヶ月（1年分）の更新用サポート契約
5年	36ヶ月（3年分）のサポート付ライセンス + 24ヶ月（2年分）の更新用サポート契約

注）ご利用頂く製品のサポート提供期間は、ご契約いただいたサポート契約の年数とは連動していません。必要に応じ、サポート契約により無償で提供される最新バージョンへのアップグレードをご利用ください。

Webベースのテクニカルサポート

Veritasは、お客様に最新の情報と案内を提供するために専用のWebサイトをご用意しています。

- テクニカルサポート情報
https://www.veritas.com/content/support/ja_JP
- 最新のソフトウェア互換性リスト
https://www.veritas.com/content/support/en_US/doc/VSR_23_SCL

5. 評価版

Veritas System Recoveryの60日間評価版は、Veritas Webサイトからダウンロードできます。

URL : <https://www.veritas.com/ja/jp/form/trialware/system-recovery>

※注) 新規リリース直後は、日本語サイトの更新が遅れる関係で最新の評価版が入手できない場合があります。この場合、以下の英語サイトから最新版を入手してください。

URL : <https://www.veritas.com/form/trialware/system-recovery>

6. ベリタステクノロジーズ日本語情報提供サイト

<https://www.veritas-solution.com/>

- 製品資料、イベント/セミナーのご案内
- System Recoveryにお役に立つ資料等も載せています
- 是非ご活用ください！



VERITAS™

ベリタステクノロジーズ合同会社

<https://www.veritas.com/ja/jp>

〒107-0052 東京都港区赤坂 1-8-1 赤坂インターシティ AIR 26階
ベリタスセールスインフォメーションセンター（法人のお客様向け製品購入に関する相談窓口）

- 電話受付時間：10:00~12:00, 13:00~17:00（土、日、祝日、年末年始を除く）
- 電話番号：0120-907-000（フリーダイヤル不可の場合 03-4531-1799）

VERITAS™